

第136回 日商簿記検定試験 2級 一商業簿記一 解 説

模範解答・予想配点・解説等は、学校法人高橋学園が独自の見解によって作成しており、検定試験実施機関における本試験の解答並びに出題の意図を保証するものではありません。なお、予告なしにその内容を変更する場合がございます。ご理解いただいたうえで、ご利用ください。

第1問

1. 車両の売却

(1) 固定資産売却益

$\text{¥}300,000$ (下取価額) $-$ $\{\text{¥}2,000,000$ (取得原価) $-$ $\text{¥}1,800,000$ (減価償却累計額) $\} = \text{¥}100,000$

(2) 未払金

$\text{¥}2,500,000$ (新車両の取得原価) $-$ $\text{¥}300,000$ (下取価額) $= \text{¥}2,200,000$

2. 法人税等

(1) 法人税等

$\text{¥}2,500,000$ (法人税) $+ \text{¥}500,000$ (住民税) $+ \text{¥}700,000$ (事業税) $= \text{¥}3,700,000$

(2) 仮払法人税等 (中間申告額)

$\text{¥}3,100,000$ (前年度の納付税額の合計) $\times 50\% = \text{¥}1,550,000$

(3) 未払法人税等

$\text{¥}3,700,000$ (法人税等) $- \text{¥}1,550,000$ (仮払法人税等) $= \text{¥}2,150,000$

3. 研究開発費

研究開発目的のみに使用する実験装置の購入代金 $\text{¥}500,000$ については、人件費 $\text{¥}200,000$ と材料の購入代金 $\text{¥}250,000$ と合わせて、合計 $\text{¥}950,000$ を研究開発費勘定の借方に計上する。また、人件費 $\text{¥}200,000$ と材料の購入代金 $\text{¥}250,000$ の合計 $\text{¥}450,000$ を当座預金勘定の貸方に計上するとともに、実験装置の購入代金 $\text{¥}500,000$ を未払金勘定の貸方に計上する。

4. 手形の更改

旧手形の額面金額 $\text{¥}3,000,000$ について受取手形勘定を貸方に計上し、利息3か月分 $\text{¥}120,000$ について受取利息勘定の貸方に記入するとともに、新手形の額面金額 $\text{¥}3,120,000$ を受取手形勘定の借方に計上する。また、受取利息のうち未経過分2か月 ($\text{¥}120,000 \div 3 \text{ か月} \times 2 \text{ か月} = \text{¥}80,000$) について、受取利息勘定の借方に記入するとともに、前受利息勘定の貸方に計上する。

5. 新株発行

払込金額 $10,000$ 株 (新株発行数) $\times \text{¥}2,500$ (1株当たりの払込金額) $= \text{¥}25,000,000$ について、新株式申込証拠金勘定の借方に計上するとともに、その2分の1を資本金勘定と資本準備金勘定のそれぞれ貸方に計上する。また、払込金額 $\text{¥}25,000,000$ について、別段預金勘定の貸方に計上するとともに、当座預金勘定の借方に計上する。

第2問

1. 総勘定元帳の推定

(1) 受取手形勘定

① 2行目残高: $\text{¥}59,000$ (前月繰越) $+ \text{¥}32,000$ (仕訳日計表借方) $= \text{¥}91,000$

② 2行目借方: $\text{¥}91,000$ (2行目残高) $- \text{¥}41,000$ (1行目残高) $= \text{¥}50,000$

(2) 支払手形勘定 (3行目借方)

$\text{¥}60,000$ (2行目残高) $- \text{¥}33,000$ (3行目残高) $= \text{¥}27,000$

(3) 出金伝票 (No. 203)

$\text{¥}27,000$ (総勘定元帳の支払手形勘定より)

(4) 振替伝票 (No. 301)

$\text{¥}28,000$ (総勘定元帳の支払手形勘定より)

(5) 振替伝票 (No. 302)

$\text{¥}50,000$ (総勘定元帳の受取手形勘定より)

2. 得意先元帳の推定

(1) 横浜商店の得意先元帳

① 2行目・売上伝票 (借方): $\text{¥}375,000$ (2行目残高) $- \text{¥}240,000$ (1行目残高) $= \text{¥}135,000$

② 4行目・振替伝票 (貸方): $\text{¥}80,000$ (振替伝票No. 303の貸方: 売掛金 (横浜商店))

③ 3行目残高: $\text{¥}238,000$ (4行目残高) $+ \text{¥}80,000$ (振替伝票) $= \text{¥}318,000$

④ 3行目・入金伝票 (貸方): $\text{¥}375,000$ (2行目残高) $- \text{¥}318,000$ (3行目残高) $= \text{¥}57,000$

(2) 大阪商店の得意先元帳

① 5行目・振替伝票 (貸方): $\text{¥}50,000$ (振替伝票No. 302の貸方: 売掛金 (大阪商店))

② 4行目残高: $\text{¥}197,500$ (5行目残高) $+ \text{¥}50,000$ (振替伝票) $= \text{¥}247,500$

③ 4行目・入金伝票: $\text{¥}20,000$ (入金伝票No. 103)

④ 3行目残高: $\text{¥}247,500$ (4行目残高) $+ \text{¥}20,000$ (入金伝票) $= \text{¥}267,500$

⑤ 3行目・売上伝票: $\text{¥}269,000$ (2行目残高) $- \text{¥}267,500$ (3行目残高) $= \text{¥}1,500$

(3) 入金伝票 (No. 101)

$\text{¥}57,000$ (横浜商店の得意先元帳「入金伝票」より)

(4) 売上伝票 (No. 501)

$\text{¥}135,000$ (横浜商店の得意先元帳「売上伝票」より)

(5) 売上伝票 (No. 503)

$\text{¥}1,500$ (大阪商店の得意先元帳「売上伝票」より)

3. 仕訳日計表

(1) 現金の借方

$\text{¥}57,000$ (入金伝票No. 101) $+ \text{¥}18,000$ (入金伝票No. 102) $+ \text{¥}20,000$ (入金伝票No. 103) $+ \text{¥}100,000$ (入金伝票No. 104) $+ \text{¥}16,000$ (入金伝票No. 105) $= \text{¥}211,000$

(2) 現金の貸方

$\text{¥}22,000$ (出金伝票No. 201) $+ \text{¥}35,000$ (出金伝票No. 202) $+ \text{¥}27,000$ (出金伝票No. 203) $+ \text{¥}14,400$ (出金伝票No. 204) $+ \text{¥}11,000$ (出金伝票No. 205) $= \text{¥}109,400$

(3) 受取手形・支払手形

総勘定元帳よりそれぞれ記入する。

(4) 売掛金の借方・売上の貸方

$\text{¥}135,000$ (売上伝票No. 501) $+ \text{¥}94,000$ (売上伝票No. 502) $= \text{¥}229,000$

(5) 売掛金の貸方

$\text{¥}1,500$ (売上伝票No. 503) $+ \text{¥}57,000$ (入金伝票No. 101) $+ \text{¥}20,000$ (入金伝票No. 103) $+ \text{¥}50,000$ (振替伝票No. 302) $+ \text{¥}80,000$ (振替伝票No. 303) $= \text{¥}208,500$

- (6) 未収金の借方
¥250,000 (振替伝票No. 305)
- (7) 未収金の貸方
¥16,000 (入金伝票No. 105)
- (8) 土地の貸方
¥220,000 (振替伝票No. 305)
- (9) 買掛金の借方
¥1,000 (仕入伝票No. 403) + ¥22,000 (出金伝票No. 201) + ¥35,000 (出金伝票No. 202) + ¥28,000 (振替伝票No. 301) + ¥80,000 (振替伝票No. 303) + ¥14,000 (振替伝票No. 304) = ¥180,000
- (10) 買掛金の貸方・仕入の借方
¥78,000 (仕入伝票No. 401) + ¥119,000 (仕入伝票No. 402) = ¥197,000
- (11) 未払金の借方
¥11,000 (出金伝票No. 205)
- (12) 借入金の貸方
¥100,000 (入金伝票No. 104)
- (13) 売上の借方
¥1,500 (売上伝票No. 503)
- (14) 固定資産売却益の貸方
¥30,000 (振替伝票No. 305)
- (15) 仕入の貸方
¥1,000 (仕入伝票No. 403)
- (16) 消耗品費の借方
¥14,400 (出金伝票No. 204)

第3問

1. 未達事項

(1) 未達商品 (支店)				
(借)	本店より仕入	172,500	(貸)	本店 172,500
(2) 未達現金 (本店)				
(借)	現金	150,000	(貸)	支店 150,000
(3) 本店負担の費用 (本店)				
(借)	支払運賃	40,000	(貸)	支店 88,000
	広告宣伝費	48,000		
(4) 買掛金の決済 (支店)				
(借)	買掛金	50,000	(貸)	本店 50,000
(5) 受取手数料 (本店)				
(借)	支店	12,000	(貸)	受取手数料 12,000
(6) 売掛金の回収 (支店)				
(借)	本店	90,000	(貸)	売掛金 90,000

2. 損益計算書の金額

- (1) 売上高
¥7,199,000 (本店の売上勘定) + ¥6,266,000 (支店の売上勘定) = ¥13,465,000
- (2) 売上原価
- ① 期首商品棚卸高
¥1,019,600 (本店) + ¥680,000 (支店) = ¥1,699,600
- ② 当期商品仕入高
¥5,857,000 (本店の仕入勘定) + ¥2,460,000 (支店の仕入勘定) = ¥8,317,000
- ③ 期末商品棚卸高
- (ア) 内部利益
{ ¥517,500 (手許保有分) + ¥172,500 (未達商品) } ÷ 1.15 × 0.15 = ¥90,000
- (イ) 期末商品棚卸高
¥810,000 (本店) + ¥750,000 (支店) + ¥172,500 (未達商品) - ¥90,000 (内部利益) = ¥1,642,500
- (3) 販売費及び一般管理費
- ① 給料
¥1,860,000 (本店) + ¥936,000 (支店) = ¥2,796,000
- ② 減価償却費
- (ア) 建物減価償却費
{ ¥4,000,000 (本店の建物) + ¥800,000 (支店の建物) } × 90% ÷ 30年 (耐用年数) = ¥144,000
- (イ) 備品減価償却費
{ ¥1,000,000 (本店の備品) - ¥150,000 (本店の備品減価償却累計額) + ¥400,000 (支店の備品) - ¥111,000 (支店の備品減価償却累計額) } × 15% (償却率) = ¥170,850
- (ウ) 減価償却費
¥144,000 (建物減価償却費) + ¥170,850 (備品減価償却費) = ¥314,850
- ③ 貸倒引当金繰入
{ ¥1,420,000 (本店の受取手形) + ¥1,060,000 (本店の売掛金) + ¥350,000 (支店の受取手形) + ¥560,000 (支店の売掛金) - ¥90,000 (未達事項) } × 4% - { ¥28,000 (本店の貸倒引当金) + ¥15,000 (支店の貸倒引当金) } = ¥89,000

- ④ 広告宣伝費
¥449,400 (本店) + ¥158,000 (支店) + ¥48,000 (未達事項) = ¥655,400
- ⑤ 支払運賃
¥136,000 (本店) + ¥109,000 (支店) + ¥40,000 (未達事項) - ¥58,000 (本店の前払) + ¥21,000 (支店の未払) = ¥248,000
- ⑥ 水道光熱費
¥95,000 (本店) + ¥51,000 (支店) = ¥146,000
- (4) 営業外収益
- ① 受取手数料
¥161,000 (本店) + ¥109,200 (支店) + ¥12,000 (未達事項) + ¥35,000 (本店の未収) = ¥317,200
- ② 仕入割引
¥18,000 (本店) + ¥10,700 (支店) = ¥28,700
- (5) 営業外費用・支払利息
¥24,000 (本店) + ¥4,000 (本店の未払) = ¥28,000
- (6) 当期純利益
¥1,159,550 (損益計算書より)